

福岡市保険者・医療関係者連携による生活習慣病重症化予防事業

# 令和7年度 福岡市生活習慣病重症化予防連携推進会議

令和 8年 3月 17日 (火) 19時00分 ~ 20時30分

福岡市庁舎 15階 1503会議室

# 福岡市保険者・医療関係者連携による生活習慣病重症化予防事業について

## 事業の目的

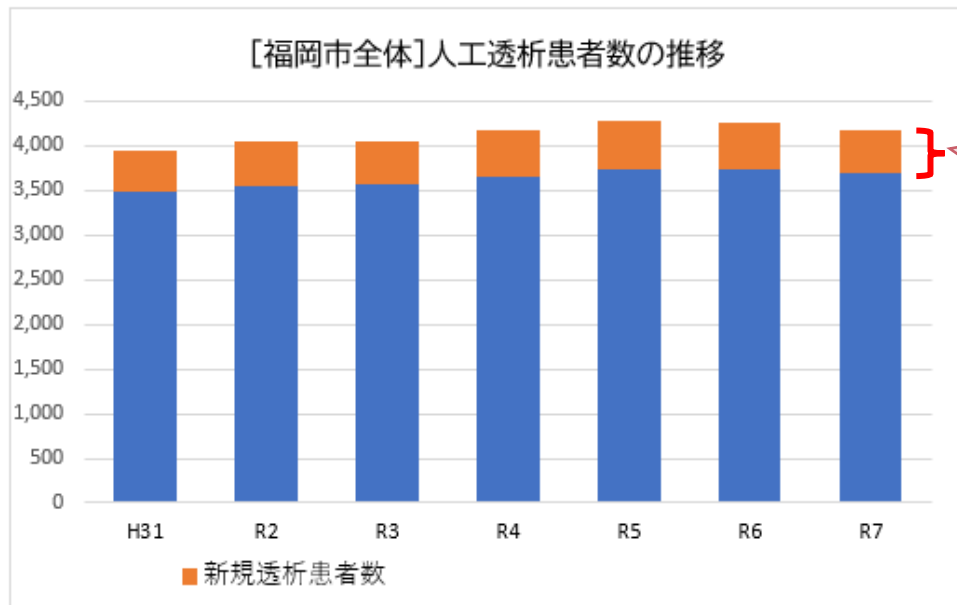
保険者と医療関係者等で連携し、生活習慣病重症化予防の仕組みを段階的に構築することで、市民の健康寿命の延伸を目指します。

生活習慣病の中でも、重症化すると人工透析や心筋梗塞、脳卒中のリスクが高く、日常生活や医療費への影響が大きい「慢性腎臓病（CKD）」の重症化予防の仕組みづくりに取り組みます。そして、増加傾向にある**新規人工透析患者数の減少**を目指します。

また、将来的には、CKD地域連携パスや糖尿病地域連携パスと融合し、地域の医療連携を、より活発でより強固なものにしていけるような仕組みの構築を検討していきます。



## 福岡市の現状



(資料元) 更生医療受給者データ

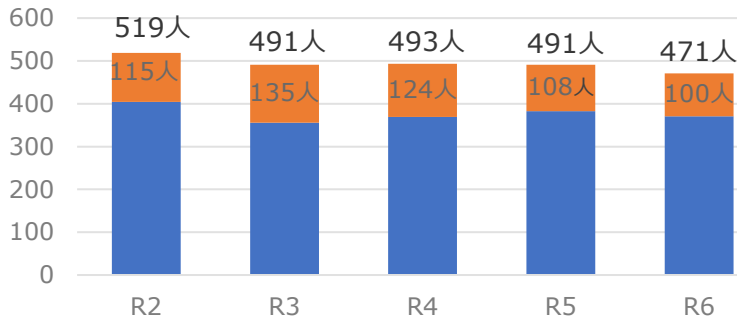


(資料元) 更生医療受給者データ

# 保険者別人工透析患者の推移

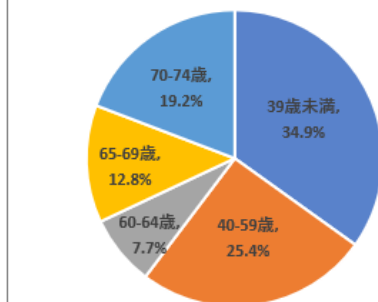
## 福岡市国民健康保険

■ 新規人工透析導入者



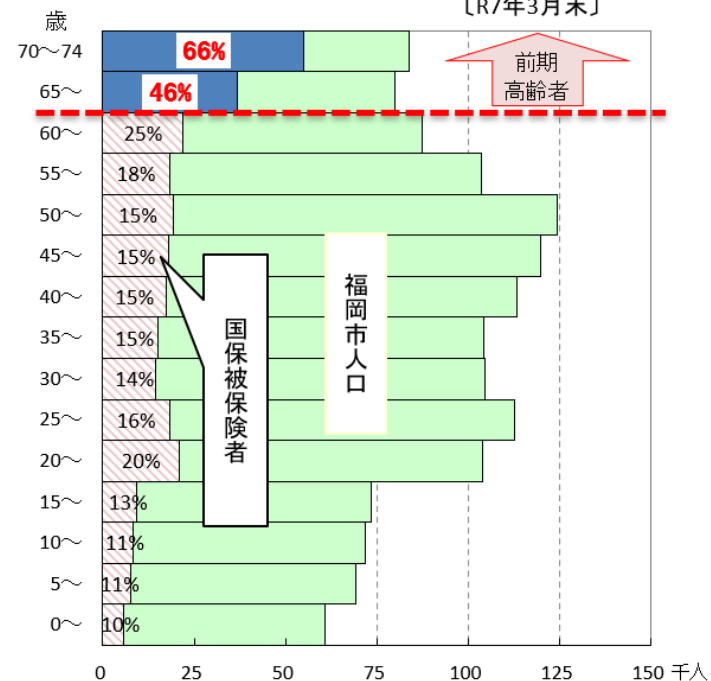
資料：KDBデータ「厚生労働省様式（様式3-7）5月診療分（7月作成分）」、保健事業等評価・分析システム「新規患者数」

被保険者数：286,810人（R6年度）



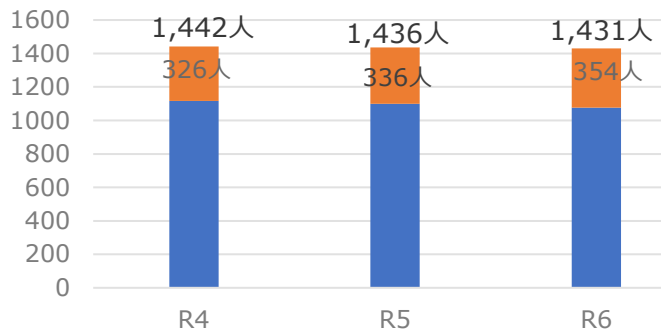
## 市人口と被保険者の年齢分布

〔R7年3月末〕

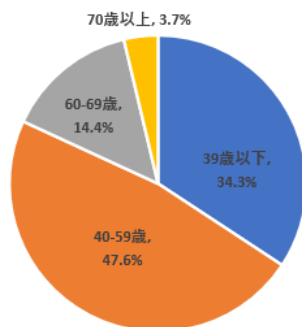


## 全国健康保険協会（協会けんぽ）福岡支部

■ 新規人工透析導入者



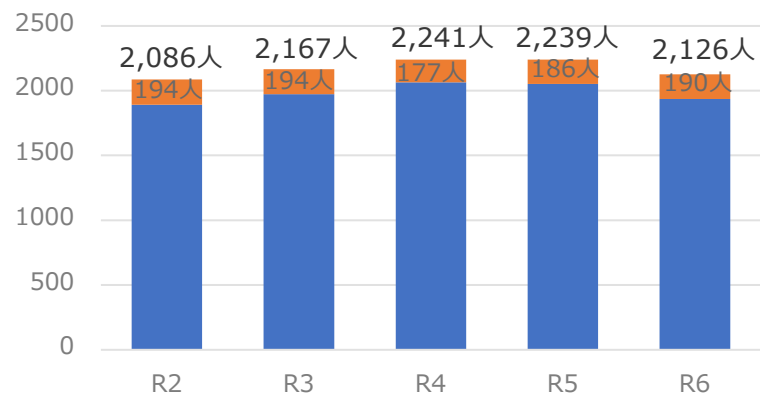
被保険者数：1,178,479人（R6年度）



## 福岡県後期高齢者医療広域連合

※福岡市該当分

■ 新規人工透析導入者



## 令和7年度の主な取り組み（ご報告）

令和7年度の主な取り組みは以下のとおり。次のページでその一部について詳細をご報告する。

| 項目                | 主な取り組み   | 今後の方針   |
|-------------------|--|---|
| 医療連携<br>（CKD医療連携） | <ul style="list-style-type: none"> <li>● CKD医療連携試行（フェーズ2）実施（令和7年2月～令和7年7月）</li> <li>● CKD医療連携試行（フェーズ2）南区・西区合同 報告会・意見交換会 開催（令和7年10月）</li> <li>● 腎臓・糖尿病専門医によるCKD医療連携検討会（以下「腎・糖専門医検討会」という） 開催（令和7年10月、令和8年2月）</li> <li>● 医療連携ワーキング 開催（令和7年6月、令和8年2月）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和8年度全市展開</li> <li>● 関係者・団体調整</li> </ul> |
| 保険者間の連携           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保険者ミーティング開催（令和7年12月）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報共有の継続</li> </ul>                       |
| 市民啓発              | <ul style="list-style-type: none"> <li>● CKDの啓発（チラシ配布・ポスター掲示、啓発動画をデジタルサイネージやSNS、各種健康づくりのイベントで配信、福岡市内小学4年生へのチラシ配布）</li> <li>● CKDの認知度を把握するため、WEBアンケートの実施</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な機会を捉えた啓発を継続</li> </ul>                |
| 通院継続支援            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療従事者研修会（令和8年2月24日開催，福岡市CKD連絡協議会主催）において、『福岡市生活習慣病の患者さんへの通院継続支援ガイド』の配付・説明</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療関係者が集まる機会での啓発の継続</li> </ul>            |
| 栄養指導              | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 【令和8年度まで継続】市のリソース（福岡市健康づくりサポートセンターや各区の保健福祉センターで実施可能なCKDの栄養指導）の情報整理、情報共有の方法の検討</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市のリソースの情報共有方法の検討</li> </ul>              |

## 【詳細ご報告】 保険者ミーティングの開催

### | 目的

- 福岡市におけるCKD重症化予防の推進
  - 各保険者の取り組み・課題の共有
  - 未受診・未治療・治療中断者対策の整理
  - 保険者間の横連携の方向性確認
- ➡実務者レベルの情報交換を行う

### | 参加保険者

1. 福岡市（国民健康保険）
2. 福岡県後期高齢者医療広域連合
3. 協会けんぽ 福岡支部
4. 福岡市職員共済組合
5. クラフティア健康保険組合（旧 九電工健康保険組合）

### | 主な確認事項

#### 【1】 各保険者の取り組み共有

- 重症化予防・受診勧奨の手法は多様（訪問・電話・通知等）
- 基準設定や委託運用方針は職域ごとに異なることを確認

#### 【2】 CKD医療連携の活用可能性

- CKD対策資料は、保健指導現場や職員向け広報等で活用可能。
- 保険者の枠を超えた情報共有や、全国展開する保険者での活用も視野に入るとの認識を共有。

#### 【3】 高齢者対策の方向性

- 健康寿命延伸は後期高齢者医療制度のみで完結するものではないことを確認
- 国保・協会けんぽ等、現役世代からの連続した取り組みが重要
- 保険者間の継続的な情報共有の必要性を再認識

### | 総括

CKDを共通テーマとして資料・知見を共有し、  
現役世代から高齢期まで切れ目のない重症化予防の推進を図る必要があるとの認識で一致した。

## 【詳細ご報告】CKD医療連携の進捗

### 経緯

市推進会議（令和7年3月開催）において、福岡市CKD連絡協議会を中心に、以下について検討を進めていくことで合意した。

その遂行を目指し、CKD連絡協議会代表の満生委員のもと「福岡市腎臓・糖尿病専門医によるCKD医療連携検討会」（腎・糖専門医検討会）を立ち上げCKD医療連携の全市展開に向けて協議・検討を行っている。

#### 前回（令和7年3月）の市推進会議において CKD連絡協議会を中心に検討を進めることで合意した内容

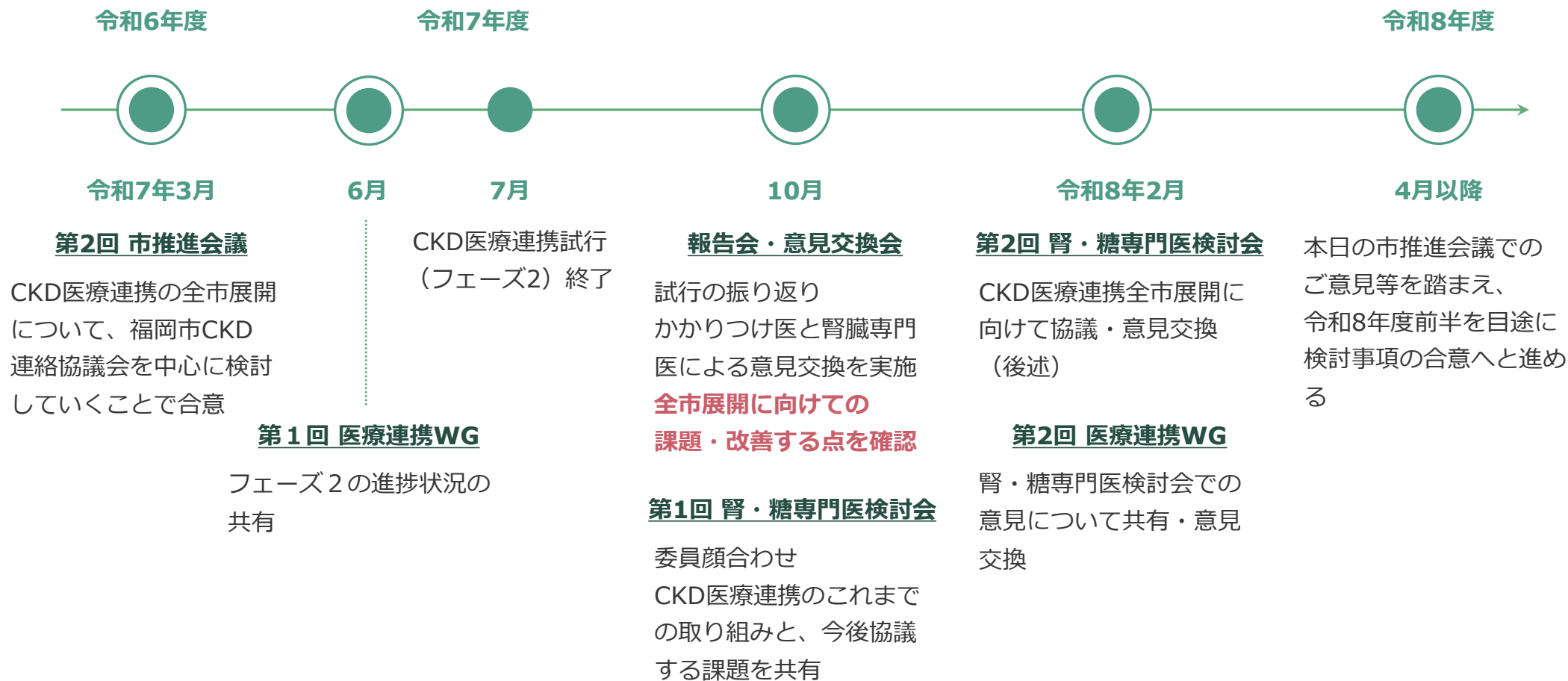
- CKD相談医療機関の研修の実施と開催方法
- かかりつけ医と腎臓専門医の顔のみえる関係づくり構築を目的とした各区の相談窓口の設置
- CKD相談医療機関の登録制度の保全（eラーニングプログラムの開発、新規開業の先生の登録の機会、登録医療機関への継続的な案内など）
- 福岡市医師会と協働した医療機関への周知
- 福岡市CKD地域連携パスからの移行
- 腎臓専門医へ「丁寧に診ること」の周知、啓発
- CKDと歯周病の関係性など、CKD相談医療機関の研修のプログラムにおける歯科受診勧奨の啓発

\*早良区は九州医療センターに担当をお願いしている。

#### 腎・糖専門医検討会 委員 ※市の行政区順（同じ区は順不同） ※法人格は省略

|      |  |
|------|--|
| 有識者  | 二宮 利治 先生（九州大学大学院医学研究院）<br>井口 登與志 先生（糖尿病専門医，<br>福岡市健康づくりサポートセンター） |
| 東区   | 中野 敏昭 先生（九州大学病院）<br>山田 俊輔 先生（九州大学病院）                             |
| 博多区  | 末廣 貴一 先生（原三信病院）<br>池田 裕史 先生（福岡市民病院）                              |
| 中央区  | 吉田 鉄彦 先生（浜の町病院）  |
| 南区   | 満生 浩司 先生（九州中央病院）<br>徳本 正憲 先生（福岡赤十字病院）<br>平川 亮 先生（平川内科クリニック）      |
| 城南区  | 升谷 耕介 先生（福岡大学病院）   |
| 早良区* | 中山 勝 先生（九州医療センター）  |
| 西区   | 木村 廣志 先生（白十字病院）<br>吉富 亮太 先生（よしとみ内科クリニック）                         |

# 【詳細ご報告】CKD医療連携の進捗



## 【主な課題・改善した点】

- 『福岡市 CKD紹介基準・フォローアップ基準』について「使いやすい」「どちらかと言えば使いやすい」といった声が多くある一方、「複雑」「難しい」という声もある
- CKDの報告は負担になるため報告書を簡素化する必要がある
- 検尿実施率が低い（検尿がなされないままeGFRの値のみで判断し腎臓専門医へ紹介となっている）
- 連携体制の構築には各地域で顔の見える関係づくりを推進していく必要がある

- ✓ 『福岡市 CKD紹介基準・フォローアップ基準』の文言、表記をわかりやすくする
- ✓ かかりつけ医療機関の報告の負担軽減
- ✓ CKD相談医は登録制とし、研修受講を必須とする（5年に1回受講）
- ✓ 区ごとの腎臓専門医のリーダーを定め、研修会・交流会を実施する

## CKD医療連携システムの特徴

### ① CKD相談医の新設（登録制）

**CKDのフォローアップ診療を担う役割の「CKD相談医」を新設**

役割：CKDの初期診療・フォローアップ、健診のCKD紹介基準該当者の紹介先

登録要件：・CKD相談医研修養成受講（5年に1回受講）

- ・CKD評価のための検査の実施（蛋白尿定量検査、血清Cr検査実施、アルブミン尿検査）
- ・CKD医療連携医療機関リストへの掲載

### ② CKD相談医と腎臓専門医の顔の見える関係づくり

**各区の腎臓専門医リーダーを中心とした勉強会の実施**

- ・区ごとの腎臓専門医のリーダーを位置づけ、リーダーが中心となり専門医とCKD相談医、かかりつけ医等を対象とした、勉強会・交流会を実施。（製薬メーカーとの支援等を活用）
- ・CKD診療のスキルアップとともに**顔の見える関係づくりを促進。**

### ③ 紹介基準・フォローアップ基準、医療機関リストの共有

**医療機関・健診機関で基準・リストを共有することで、CKD基準該当者をCKD相談医・専門医につなげる。**

- ・福岡市 CKD紹介基準・フォローアップ基準
- ・福岡市 CKD医療連携医療機関リスト（CKD相談医、腎臓専門医）

### ④ 報告の簡素化

報告期間を限定し、レセプトデータ分析で把握できる項目は報告対象とせず報告項目を簡素化する。

### ⑤ レセプトデータから国保健診受診者のCKD医療連携をモニタリング

国保健診結果、レセプトデータ等から、対象者の受診状況、検査内容、処方状況等をモニタリング。

### ⑥ サポートツールの共有

CKD啓発ツール、eGFRグラフツールを共有。

# 【CKD医療連携の展開（全体像）】

## 福岡市CKD医療連携

### 健診での受診勧奨

市の基準を参考に  
各保険者の基準で受診勧奨



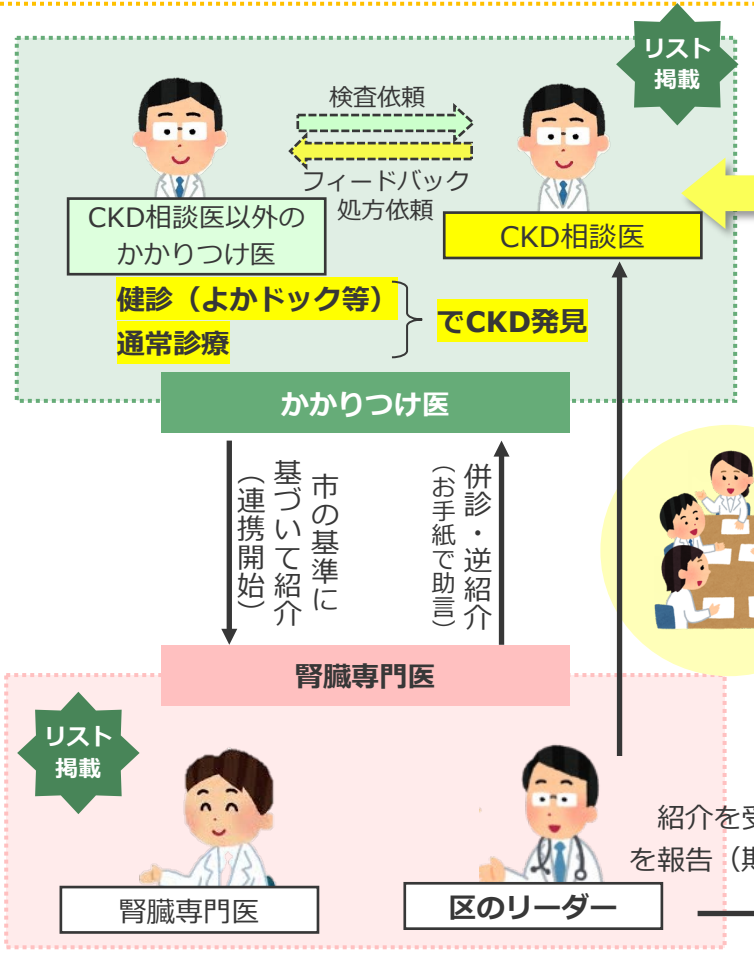
保険者・健診機関



保健福祉センター  
(集団健診)

市の基準に基づいて  
受診勧奨\*

\*かかりつけ医療機関がある場合は、  
当該医療機関を受診のうえ腎臓専門医  
医療機関へ紹介してもらうよう勧奨する。



### ポイント CKD相談医（登録制）の新設

#### CKD相談医とは

役割：CKDの初期診療・フォローアップ

健診でのCKD紹介基準該当者の紹介先

- 登録要件：
- ・CKD相談医研修養成受講（5年に1回）
  - ・CKD評価のための検査の実施（蛋白尿定量検査、血清Cr検査実施、アルブミン尿検査）
  - ・CKD医療連携リストへの掲載

### ポイント 顔の見える関係づくりの推進

#### 各区のリーダーを中心とした勉強会

- ・区ごとに専門医のリーダを位置づけ。
- ・各区リーダーが、腎臓専門医とCKD相談医の顔の見える関係づくりのための勉強会・交流会を実施

### 報告の簡素化

#### 報告の簡素化

レセプト分析データ等を活用することで、  
報告項目を最小化し、報告の負担を軽減


### サポートツールの共有

- ① CKD啓発ツール
- ② eGFRグラフツール

### 紹介基準・フォローアップ基準、医療機関リストの共有

- ① 『福岡市 CKD紹介基準・フォローアップ基準』
- ② 『福岡市 CKD医療連携医療機関リスト』

【参考資料】新システム稼働までのスケジュール

| 期間<br>項目 | 令和8年度前半  | 令和8年度後半  | 令和9年度  |
|----------|--|--|--|
| 新システム構築  | <p>諸準備</p> <p>市医師会および関係各位への報告・協力要請</p>   | <p>新システム説明会の周知（広報活動）</p> <p>○ 新システム説明会・CKD相談医研修会</p> |  |
|          | <p>CKD連携パス</p>   |  | <p>新CKD医療連携システム稼働</p> <p>CKD連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CKD医療連携システムの運用管理</li> <li>・CKD医療従事者研修の実施</li> <li>・CKD市民公開講座の実施</li> </ul> |
| 地域づくりの連携 | <p>腎臓専門医のリーダー決定</p> <p>各区の医師会への報告・協力要請</p> <p>各区のリーダーが中心となって、勉強会・交流会を実施し、CKD診療の顔の見える関係を構築することについて説明・協力要請</p> |  | <p>勉強会（各区） ※区の状態に応じて適宜開催</p>                                        |